



ぐるーぷほーむ通信



連日、炎暑が続きますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

焼けつく様な暑さの中、コロナウィルスが猛威を振るい、毎日、ニュースを賑わせています。ホームでは“持ち込まない”を基本として、出勤前の検温うがい手洗いを、また、1時間おきの室内換気や1日2回共用部の消毒を徹底して参りました。7月末現在、入居者様9名全員がコロナウィルスの感染を未然に予防出来て、風邪症状も無くお元気に過ごして頂いております。

ご高齢者にとって外出し難い中、どのように季節を感じて楽しんで過ごして頂けるか、スタッフ間で工夫をしています。6月初旬、毎年恒例になりました運動会を開催致しました。紅白に分かれて、パン食い競争や玉入れ等の競技に参加して頂き、良い汗を流されていました。

また、6月中旬はスーパーに梅やらっきょうが並ぶ季節となります。今年も梅仕事として、梅シロップの仕込みを行いました。皆さんと協力してヘタ取り等の作業する中、ご自身でも仕込まれていた方や初めての方、それぞれに「こんな季節ね」と話されていました。仕込み以降1日1回は瓶を混ぜて、出来上がりを楽しみにしています。

7月に入るとホーム内に笹を飾り、皆さんと一緒に七夕飾りを制作し飾りました。近くを通られる都度、「綺麗ですね」と感心されたり、何度もご自身の書かれた短冊を手にとられていました。また、7日には七夕レクリエーションとして、紙コップで織姫と彦星を制作しました。スタッフの予想を反し、以外?にも多くの方が彦橋を選ばれました。スタッフがその理由をお尋ねすると「私達、女性だから!」と言われましたので、皆様で大笑いしました。出来上がった作品は、暫くの間、食堂の壁に飾らせて頂きました。同時期に簾に折り紙で作った朝顔も飾っていた為、「もうすっかり夏なのね」と喜ばれていました。

日頃は、入居者様全員で体操や脳トレーニングに取り組みれたり、朝夕の日差しが強くない頃に、施設屋上の散歩にお誘いして、気分転換して頂けるように努めています。また、屋上やラウンジの窓から、日々成長する建築中の工事現場を「何が出来るんでしょうね?」と興味深くご覧になっています。

今後も日々を楽しみに過ごして頂ける様なホーム創りを目指して参ります。

令和4年8月 T・K

新スタッフ紹介



よろしくおねがいします!



おしらせ

介護業界での、外国人スタッフの雇用が多くなってきた今日、ライフケア大手門は、現在5名の外国人スタッフが働いています。この度グループホームでも、初めて外国人スタッフを雇用することとなりました。介護技術だけではなく、文化や言葉についても丁寧に指導を行い、入居者様に快適に過ごして頂けるよう一緒に頑張ってお参ります。次号にて、改めてご紹介させていただきます!

お誕生日おめでとうございます!

なんと、この7月で100歳を迎えられました。日頃から洗濯物畳み等のお手伝いも、意欲的に手伝って下さいます。これからは笑顔でお過ごし下さい!!





グループホーム
運動会



玉入れにパン食い競争。
赤組、白組、どちらも
頑張る!!



梅仕事
美味しくなあれ!!



七夕飾り
キラキラキレイに



避難訓練



日頃の様子



第9回 にゅーさぽコラム

「周りの人が熱中症になってしまったら？対処方法を身につけて行きましょう！」

激しい暑さが続いていますね。前回のコラムでは、熱中症の予防として水分補給についてご紹介しました。予防も大切ですが、「周りの人ができるだけ早く気づいてあげる」こと、「なってしまった時に適切に対処すること」もとても大切です。

【高齢の方は、熱中症になりやすい】

人の体は、体が暑くなると汗をかいて体温を下げようとしますが、高齢の方は、体が熱くなってから汗をかく反応が遅くなります。

【意識の低下や脈の違いを確認しましょう】

体調を崩した時、まずは「意識が低下していないか？」を確認しましょう。質問することで確認します。反応がいつもと違うかを確認しましょう。熱中症になると脈拍が「弱く」「速く」なります。普段との数値との比較を行いましょう。

<ここに注意！>

日頃から脚がつる（こむら返り）方も多いかと思いますが、脚がつることは立派な熱中症（脱水症状・ミネラル不足）の症状の一つでもあります。夏季や夜間に生じた場合は特に注意してください。

【熱中症への対処方法】

①安全で涼しいところに移動させましょう

同じ場所にいたら症状は悪化してしまいます。できるだけ涼しい場所に移動させましょう。

<ここに注意！>

もし本人が自分で歩ける状態でも、いつ転んで頭を売ってしまうかわかりません。両側から二人で支える、車椅子に座らせるなど、できるだけ安全な方法で移動しましょう

②横になって足を高くする

脳への血流が不安定になっています。心臓より足を高くすることで、脳への血流を改善させる効果が期待できます。

③「氷」で、「脇」と「首」を冷やしましょう！

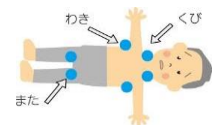
保冷剤ではなく、できるだけ氷を使いましょう！氷の方が、体の深い部分まで温度を下げるすることができます。ビニール袋に氷を入れて結んだものを作りましょう。

④塩分を含む水分補給をしましょう！

ミネラルウォーター（水）だけではなく、スポーツドリンクや経口補水液を飲ませてください。

⑤医療機関を受診しましょう

水分を自力で飲むことが難しい場合は、内科などの医療機関を受診しましょう！対応が遅れると取り返しのつかないことになる可能性があります。



～株式会社 ニューサポート様より～